

パブリックコメントの実施結果及び前回委員会からの主な変更点について

## 1. パブリックコメントの実施結果について（報告）

---

市民ニーズを十分に踏まえながら多様な意見を反映させるため、計画に対するパブリックコメントを実施しました。

意見募集期間：令和7年12月1日（月）から令和7年12月26日（金）

募集方法：ホームページ及び各公共施設等で公表

意見件数：3件（うち公表可1件、非公表2件）

意見の内容については、資料2をご参照ください

## 2. 第5次地域福祉計画・第4次地域福祉活動計画（案）について

---

前回の協議会（令和7年10月3日）に素案のご確認を頂いて以降、総務福祉教育常任委員協議会や地域福祉計画策定委員会（庁内組織）でのご意見等をふまえた修正を行っています。

### 【素案からの主な変更点】

<本編・資料編共通>

○「支えあい」「支え合い」の使い分け

基本理念及び本編導入（p.2～5）は「支えあい」、その他説明内では「支え合い」の使用で整理

<本編>

○表紙の更新

表紙イラストを完成させたほか、右下スローガンについては次期総合計画との整合を取るために「支えて、支えられて、活かし合って。」へ修正

○13小学校区の活動目標（p.12～13）

人口・世帯数・高齢化率を最新（令和7年3月末）の数値へ更新

<資料編>

○2. 計画策定までの取り組み（p.3～4）

・「(4) パブリックコメントの実施」に結果追記

※「(2) 地域ワークショップの開催」については、3回目を現在開催中のため、策定時には結果を追記します。

○3. (1) 人口の動向 (p. 5~7)

最新(令和7年3月末)の数値へ更新

○5. 基本施策における参考指標 (p. 21~25)

- ・「重層的支援体制整備事業による連携進捗率」目標値を90.0%へ引き上げ
- ・「民生委員・児童委員充足率」目標値を90.0%へ引き上げ
- ・「成年後見制度の認知度」目標値を75.0%に設定
- ・「福祉活動に関する啓発の回数」目標値を70回に設定
- ・「複合型生活支援サービス事業補助金交付団体数」「まわりの人が困っていたら手助けする市民の割合」の2指標を新たに設定
- ・居場所関係の指標については、「居場所の数」を指標として設定

※「居場所の数」の実績値の取り方については、目標値も含め調整中

※「心配事や愚痴を聞いてくれる人がいる市民の割合」「まわりの人が困っていたら手助けする市民の割合」の2指標については、本市次期総合計画(令和8年度~)との整合を図るため、目標値も含め調整中

○6. 重層的支援体制整備事業実施計画における評価について (p. 34)

新たに重層事業に対する評価体制を追記

○9. 小学校区ごとの地域福祉活動目標 (p. 39~64)

地域ワークショップ(2回目)の結果を反映させたほか、全体的なレイアウト変更の実施

※3回目を現在開催中のため、策定時には結果を追記します。なお、(8)千代田小学校区(p. 53~54)のみ、完成版としてありますので、イメージの参考としてください。

○11. 計画の策定経過、12. 用語の説明、13. 規定・名簿 (p. 65以降)

新たに追記